

呉工業高等専門学校		開講年度	平成31年度 (2019年度)	授業科目	中国語
科目基礎情報					
科目番号	0126		科目区分	一般 / 選択必修	
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 2	
開設学科	機械工学科		対象学年	5	
開設期	通年		週時間数	2	
教科書/教材	相原茂・陳淑梅・飯田敦子「日中いぶこみ交差点」(朝日出版社)				
担当教員	香村 慶太				
到達目標					
<p>1. 4年生で`学習した内容復習し、そのうえで応用表現を習得することで`、会話の幅を広げ`ます。</p> <p>2. 中国の社会・文化に関する様々な話題を取り上げ`、中国についての理解を深めます。</p> <p>3. 練習問題を通じて、中国語の読解力や理解力を高めます。</p>					
ループリック					
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安
評価項目1	4年生で`学習した内容を復習し、そのうえで応用表現を習得することができる`ことができる		4年生で`学習した内容を復習し、そのうえで応用表現を習得することができる`、会話の幅を広げ`ることができる		4年生で`学習した内容を復習し、そのうえで応用表現を習得することができない
評価項目2	中国の社会・文化に関する様々な話題を取り上げ`、中国について適切な理解を深めることができる		中国の社会・文化に関する話題を取り上げ、中国について理解ができる		中国の社会・文化に関する話題を取り上げ、中国について理解ができない
評価項目3	練習問題を通じて、中国語の読解力や理解力を適切に高めることができる		練習問題を通じて、中国語の読解力や理解力を高めることができる		練習問題を通じて、中国語の読解力や理解力を高めることができない
学科の到達目標項目との関係					
学習・教育到達度目標 本科の学習・教育目標 (HA)					
教育方法等					
概要	この授業で`は、基礎となる中国語の文法・会話表現を復習しなから、より高度な表現を習得することで`、一定程度の実力をつけさせる。す。				
授業の進め方・方法	発音方法、文型模倣練習法、模倣記憶復法などを必要に合わせて応用する。				
注意点	試験前にまとめて勉強するのではなく、普段の授業を大切に、しっかり知識の基盤を築くことを期待する。				
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	第11課-①②	本文・助動詞“要”・主述述語文	
		2週	第11課-③④	比較の言い方・前置詞の“”	
		3週	第12課-①②	本文・助動詞“可以”	
		4週	第12課-③④⑤	方向補語・連動文・お金の言い方	
		5週	第13課-①②	本文・“怎么”・前置詞の“离”“从”“往”	
		6週	復習		
		7週	中間試験		
		8週	第13課-③④⑤	助動詞の“得”・動詞の“在”・動詞のあとの“了”	
	2ndQ	9週	第14課-①②	本文・年月日と曜日の言い方・“快～了”	
		10週	第14課-③④⑤	“了”・“跟”・“～”	
		11週	第15課-①②	本文・時刻の言い方・時間量の言い方	
		12週	第15課-③④	禁止表現“别”・“挺”	
		13週	第16課-①②	本文・助動詞の“会”・結果補語	
		14週	復習		
		15週	期末試験		
		16週	答案返却・解答説明		
後期	3rdQ	1週	第16課-③④	“不”と“没”・方位詞	
		2週	第17課-①②	本文・助動詞の“能”・前置詞の“在”	
		3週	第17課-③④	“再”・可能補語	
		4週	第18課-①②	本文・態様補語と程度補語・前置詞の“用”	
		5週	第18課-③④	“一下”・二重目的語をとる動詞	
		6週	復習		
		7週	中間試験		
		8週	第19課-①	本文・“有点儿”と“一点儿”	
	4thQ	9週	第19課-②③	進行の表し方・“是～的”	
		10週	第19課-④⑤	“”使役文・“～着”	
		11週	第20課-①	本文・“吧”構文	
		12週	第20課-②	“被”構文	
		13週	第20課-③④	存現文・“祝”祈る言葉	
		14週	復習		
		15週	学年末試験		
		16週	答案返却・解答説明		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標					

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週		
評価割合							
	試験	課題	授業参加度	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	70	10	10	10	0	0	100
基礎的能力	70	10	10	10	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0